

# 井奥まさきの市政ニュース

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9

E-MAIL [iokuioku3@gmail.com](mailto:iokuioku3@gmail.com)

TEL **079-444-2343** FAX 079-444-2418

2019年**新年号**

通算**132**号

謹賀新年

## 2019年高砂市も国政も一歩前へ

### 2019年の主な予定



写真 (2018.1の初日の出 生石神社より)

9月

10月

11~12月

市役所議会棟  
完成

消費税増税

中学校給食  
試行予定

ほぼ完成は2021年秋

市も増収  
プレミアム商品券?

実施は3学期

広域ごみ処理  
施設工事続行

完成は2021年

市長選挙は  
2020年4月

3月

5月

7月

県議選  
(3/29)

新元号へ  
(5/1)

参議院議員  
選挙

新元号対応作業

4大事業と呼ばれる総額150億円以上の事業が次々と着工、あるいは完成。この他にも参議院議員選挙や新元号スタート、消費税増税など国レベルでも大きな動きが。



写真  
2018.12  
一般質問

平成最後の年2019年がスタートします。昨年の市議会議員選挙で「高砂市を一歩前へ」をスローガンとして訴え多くの票をいただきました。今年は7月に参議院議員選挙が行われます。安倍政権の制度疲労が見えてきた中、次の時代に向けて「一歩前へ」進める選挙にしたいものです。私は緑の党で推薦する比例区候補者を応援します。

高砂市政も10年以上続けてきた登政権が「次のビジョンを描く」ことに失敗し、迷走しています。赤字の続く市民病院など「経営失敗」「問題先送り」が目立つ中、今こそ市政に経営能力と決断力が求められます。私は唯一の議決機関としての市議会でもっと活発な議論ができるよう今年も精力的に活動していきます。(井奥まさき)

### 服務宣誓

## 憲法って身近なことを実感

高砂市職員は「憲法尊重」を誓って勤務

### 宣誓書

私は、ここに主権が国民に存することを認める**日本国憲法を尊重**し、且つ、擁護することを固く誓います。私は、**地方自治の本旨を体す**るとともに**公務を民主的且つ能率的に運営**すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実且つ公正に職務を執行することを固く誓います。

一般質問で立憲主義の前振りとして市職員の宣誓書を取り上げました。条例では「宣誓書に署名してからでなければ、その職務を行ってはならない」とあります。左の宣誓書に基づいた市政運営をしているかを元職員の市長にも確認しました。

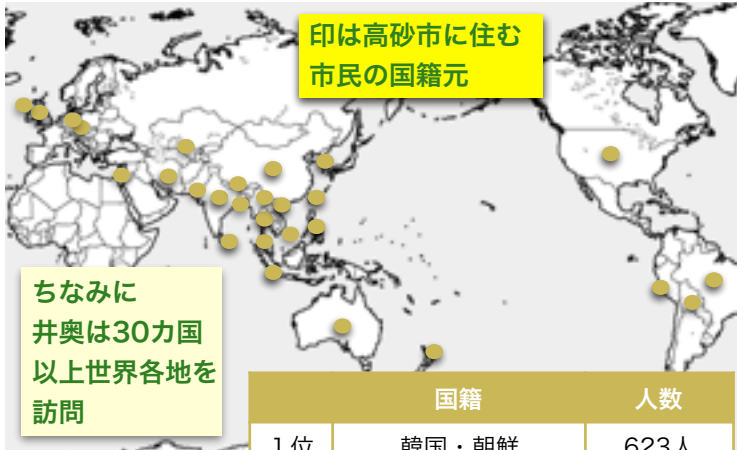
## 井奥まさき活動アルバム



写真は12月15日大阪で行われた「女性を議会へバックアップスクール」でスタッフや予定候補者とともに。子どもを除けば黒一点でした。女性たちが元気です。3月29日から統一地方選挙が始まります。後半戦は4月21日投開票です。主に女性候補者の支援に走り回るつもりです。

多文化共生

人権先進市としてこれからの多国籍・多ルーツ時代に対応を



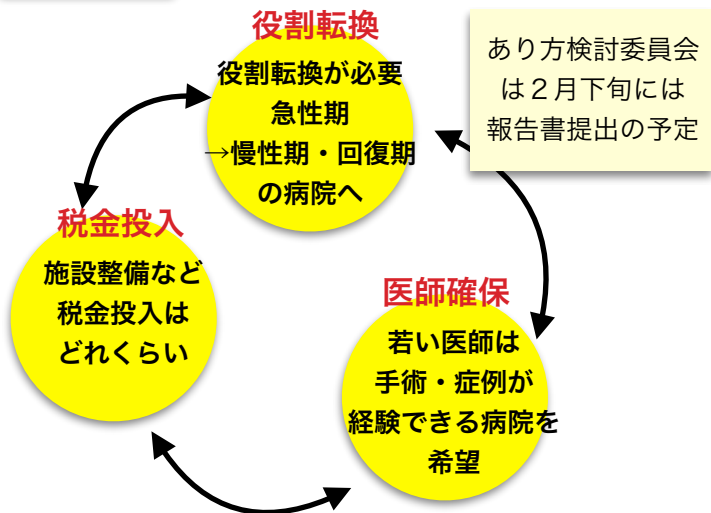
	国籍	人数
1位	韓国・朝鮮	623人
2位	ベトナム	96人
3位	フィリピン	89人
4位	中国	82人
	合計	1068人

平成28年度  
(2016) 国籍別  
外国人登録者数  
(高砂市統計書)

人口の1%が外国籍の住民である時代がきています。高砂市でも左のように国籍だけをみても20カ国以上1000人以上となります。各国ルーツを持った方はさらに多く居住しているでしょう。にも関わらず単一民族幻想で「見えない」存在となっている状況です。現状を改革せず昨年の国会で拙速に通過した「入管法改正」で社会が混迷する危険性があります。「労働力」ではなく「同じ人間」として受け入れする体制を早急に整え、多文化共生社会の方向に向かうべきです。高砂市は人権政策に力を入れてきた伝統があります。その伝統を活かして先進的な多文化共生自治体を作り、産業活力にもつなげることを一般質問で提言しました。他に「相談窓口」「多文化共生の教育」「技能実習生の実態把握」などの課題について確認しました。

市民病院

大苦戦の高砂市民病院 役割転換と医師確保、税金投入の関係



12月議会に提出された資料では市民病院は通常の約7.9億円の繰り入れに加え、今年は6億円以上の赤字補てんが必要な状況になりそうです。あり方委員会は2回、市議会での病院特別委員会は3回開催されていますが、その中で論点も見えてきました。

手術後すぐに退院が必要な加古川市民病院のような「高度急性期病院」と自宅や診療所をつなぐ役割が高砂市民病院の新たな役割でしょう。しかし、若い医師確保には手術ができる環境整備も重要です。また税金投入はどこまで可能か、この3つの要素のバランスを市民と一緒に議論する必要があります。

高砂市民まちづくり協議会 1/26 (土)、2/16 (土) 14時～ユーアイ帆っとセンター

子育て日記

冬の制服、冬の服装を考えましょう

最近娘は急速に背が伸びてきましたが、私に似ず体脂肪率がマイナスという「ヤセ型」なので冬は苦手なようです。朝はカイロを複数仕込んで飛び出していきます。特にスカートなので冬はとても寒いとグチをこぼします。

制服についてそもそも不要だとか、先進校であるように女性でもズボンも選択できるようにするとか、いろいろな議論はあります。女性の看護師もいまやズボンが多くなっています。制服でズボンとスカートの選択性がいんじゃないかと考えますが、また機運は高まっていないようです。

ならば、せめて冬の服装を工夫できたらいいのと思います。例えばタイツや下にはく体操服の制限解除などやりかたはありそうです。



「男女区別なく選べる制服を」

毎日新聞  
2018.4.2

と原稿を書いていたら、私に似た体型の息子が夏みたいな格好で外に行こうとするので「そんな格好だと風邪ひくよ」とあわてて妻が止めていました。私もそうだけど、太った人って薄着でも平気なんだよなあ。